

# 令和6年度 社会福祉法人 協愛福祉会 施設自己評価表

(保育理念)  
Happy+Natural  
Happy+challenge

(保育目標)  
げんきな子 やさしい子  
がんばる子 ゆたかな子

A：よくできている      B：わりとできている  
C：一部改善が必要      D：改善しなければならない

	内容	前年評価	今年評価	現状・課題
保育目標に	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	C	C	保育理念や4本柱は覚えているが、十分に理解しているかというと、まだまだ部分も多い。保育を楽しむ意識はあるので、今後はもっと理念を意識しながら子どもの主体性を大事にしていきたい。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている	B	B	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	B	B	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	A	子どもたちの興味があるものに対してすぐに反応し環境を整え、保育者も一緒に楽しむ姿が見られた。時々、やりっぱなしになったり雑に扱つたりが見られたので、楽しむ事は良いが、物の扱い方も伝えていく必要がある。
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	A	A	
	(3)素材・用具を適切に使用している	D	C	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	C	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	B	B	
	(6)1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよい	C	B	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	B	B	残食が多いという課題は引き続きあるが、クッキングやバイキングをすることで、少しずつ残食の量は減っており、食に対する興味も少しずつ出てきている。
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	B	B	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	A	
役員研修分担	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	C	B	リーダーが中心となり、それぞれが自分の仕事を責任をもって行っていた。次年度は個々の研修計画をしっかりと立てて行なっていきたい。
	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に応える体制が整えられている	C	B	
	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	B	

保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている	B	B	ドキュメンテーションを使って、日々の保育の様子を発信することで、子どもたちの興味や成長の様子を保護者と共有する事ができた。また、保護者からの相談等にも丁寧に対応し、安心していただけるよう心掛けた。
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	B	
	(4)園だより、ドキュメンテーション、きっずノート、ホームページ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	C	B	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	B	B	
開かれた保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を持つ	B	B	小学校とは地域の園と合同での交流となった。小学校とはそれ以上の交流は出来なかつたが、他園との交流をその他でも行う事で、就学を楽しみにする子どもの姿があつた。
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら対応している	B	B	
子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	D	D	地域の親子の交流の場には出来なかつたが、見学者の受け入れ、見学者の育児相談や園生活への質問等には答えていた。インスタグラムも昨年に引き続き行つていた。
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように努めている	B	B	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	B	B	

## 総合的な現状と課題

子どもと一緒に保育者も様々な事を楽しめた1年となつた。子どもの興味の拾い方が少しずつわかってきたようで、色々な事に挑戦出来た。子どもたちの遊びの興味や成長などの情報共有も、雑談等が増えたことでスムーズになり、クラスに関わらず、園全体で子どもたちを見守る姿勢が続いているように感じる。今後の課題としては、遊びが中途半端になつたり、やりっぱなしにならぬようにする為にも、子ども主体という事を考えながら、子どもたちがやりたいことをもっと実現できるようにしていきたい。その中で、子どもの人権についても引き続き頭に置きながら保育していきたい。

園名 ひなたの森保育園

氏名 廣澤麻美